

平成29年度 第1回葛飾区学校給食費検討委員会【議事録要旨】

1 日 時 平成29年6月1日（木）午後4時から午後4時37分

2 会 場 葛飾区職員人材育成センター 第1研修室

3 出席者

- (1) 委 員 平沢学校教育担当部長、葛飾区立木根川小学校長、
葛飾区立亀有中学校長、葛飾区立小・中学校PTA代表 各1名、
葛飾区立小・中学校栄養士代表 各1名
(葛飾区立小学校PTA代表の委員が出席できないため、葛飾区立
小学校PTA連合会から、代理委員が出席。)
- (2) 事務局 鈴木学務課長、給食保健係 高梨・安藤・藤野

4 内 容

委員紹介

【事務局説明】

資料1・2の内容について説明

本年度委員を事務局が紹介、続いて事務局が自己紹介。

議題（1）葛飾区学校給食費検討委員会の傍聴について

【事務局説明】

資料3の内容について説明

本委員会の傍聴について、行政の透明性を確保するといった意味から、規定を整備することを提案。

【質疑応答】

- ・傍聴についての事務局案は、他の会議の傍聴規定と異なるのか。
→葛飾区議会及び葛飾区教育委員会の傍聴規定をベースにしている。一般的なものと考えて頂いてよい。
- ・次の委員会から適用か。
→今回の委員会で各委員の承認を頂いたら、事務局にて手続きをとり、次回の委

員会から施行したい。

- ・傍聴についての事務局案に基づき、傍聴を認める手続きを進めていくことについて、各委員の承認を得た。

議題（２）平成２９年度の検討事項について

【事務局説明】

資料４の内容について説明

多くの検討事項が挙げられていること、実際に検討を進めていく中で、さらに課題が出てくると考えられること、区の会計・経理部門等の内部的な検討が多くなることから、葛飾区学校給食費の公会計化専門部会を立ち上げ、専門部会の検討結果をもって、本委員会にて検討していくことを提案。

【質疑応答】

- ・公会計化の是非ではなく、公会計化にあたっての課題やメリット・デメリット等を本委員会で検討していくことについて、各委員の了解を得たいということか。
→公会計化にあたっての課題やメリット・デメリット等を本委員会で議論していくことにより、公会計化の是非も含めて検討することについて、各委員の了解を頂きたい。
- ・公会計化という言葉はあまり聞きなれない。
→いまの学校給食費は、各学校で保護者から校長口座に集金し、そのお金で食材を購入する仕組みになっている。公会計化となると、食材は区のお金で購入し、食材費を区が保護者から徴収する。したがって、毎年度、区が歳出と歳入の予算を組んでやっていくということが、大きな変更点となる。
- ・公会計化した場合、学校給食の献立はどうなるのか。
→やり方は色々あると考えられる。葛飾区では、一律の共通献立から独自献立に変更してきた経緯があるため、もし公会計化した場合、各校の独自献立は保持したい。
- ・現在、各学校に各業者が入ってきているが、公会計化した場合は、区が窓口となるのか。各学校の栄養士らの意見集約が、比重としては大きいと思う。

→抜本的にやり方を改めるのか、もしくは、現行のやり方がある程度踏襲した上で構築していくのかで、全く変わってくる。他の自治体の例等を参考にしながら、課題を検討していくことになる。

- ・公会計化すると、学校給食費の未納者が増えるという意見もあるようだが。
- 公会計化した場合の学校給食費徴収方法については、全国的にも統一されていない。未納者に対する督促等を学校が行っている自治体もあれば、徴収担当の部署を作り、督促等を一括して進めている自治体もある。自治体が徴収を行う場合、保護者の納入状況がよろしくなくなるといった事例も、実際にある。こちらも、メリット・デメリットを踏まえた上で、検討していかなければならない。
- ・公会計化にあたっての課題やメリット・デメリット等を本委員会で検討していくことにつき、各委員の承認を得た。

議題（３）平成２９年度葛飾区学校給食費の公会計化専門部会 部会員名簿

【事務局説明】

資料５の内容について説明

葛飾区学校給食費の公会計化専門部会の立ち上げと合わせ、次回の委員会にて、要綱改正の事務局案を提示することを提案。

【質疑応答】

・専門部会員の選定理由は。

→専門部会では、公会計化について、実務的な部分や事務処理上の課題を検討することになる。実務に携わる栄養士と区の事務職員で、まず検討を行い、必要に応じて、学校事務職員等も入れて、検討を進めていきたい。また、学校給食費の徴収・督促業務等に、教員も関わっていると聞いている。そのため、学校現場全体を把握している校長先生方も、部会員に入れさせて頂きたい。

・事務局案とおりの専門部会員で検討していくことにつき、各委員の承認を得た。

議題（４）平成２９年度検討スケジュールについて

【事務局説明】

資料6の内容について説明

【質疑応答】

- ・公会計化する時期について、目安はあるのか。
→今のところ、明確な予定はない。ゼロベースから検討を始めなければならないため、非常に課題が多い。一定の期間を設けて、急いで検討した場合、大きな混乱が生じる可能性がある。むしろ、本委員会での検討の進み具合によって、どれくらいの時期といった目途が立つのかも合わせて、検討していければと考えている。検討の中で、近々には公会計化は難しいという結論もあり得るかと考えている。

- ・検討事項の一つをとってみても、かなり色々な案が出て、なかなかまとまらないだろうと想像がつく。知恵を出し合うということか。
→他の自治体での事例等については、事務局で用意する。そういった事例も参考にしながら、議論して頂きたい。

議題（5）その他

【質疑応答】

- ・平成26年度に夏休みが短縮し、給食回数の減少による実質的な学校給食費の値上げはあったが、この3年間で、消費税率が上がり、物資の価格も年々上昇している。現行の学校給食費の額では、国内産の食材や安全な食材の使用が、厳しくなっている。今年度は、学校給食費の値上げについての議論はないのか。
→今回に関しては、学校給食費の公会計化について、検討していきたい。

- ・本委員会の委員選出にあたり、早急な学校給食費の対応をお願いしたいと考えていた。今回の委員会の検討事項が、学校給食費の値上げについてではなく、公会計化についてであるということは、今後、各学校の栄養士に説明をして頂きたい。
- ・もともと、学校給食費の値上げを検討する委員会といった、イメージがあったかと思う。一昨年度・昨年度と本委員会の招集がなく、今回、招集があったことで、学校給食費が改定されると考えている栄養士もたくさんいると思う。事務局には説明をお願いしたい。
→別途機会を設けて、各学校の栄養士に説明する。